

CasePlayer2 仕様書出力サンプル【詳細解析モード】

静的解析機能を利用する「詳細解析モード」で生成される仕様書を示します。各仕様書のリンクボタンで、仕様書サンプルが表示されます。

※この「詳細解析モード」は、プロジェクト全体のソースコードを解析して、変数の参照状況を得るために、インクルードパスなどの、コンパイルに必要な情報を設定する必要があります。また、文法エラー等を排除し、コンパイルが可能な状態のソースであることが必要です。

●外部変数一覧：【詳細解析モード】

プロジェクト全体に含まれる外部変数(グローバル変数)の一覧です。各項目を右クリックすることで、ソース定義位置、参照リストへ移動することができます。

```

24 /* 外部変数 */
25 int chosenStaff=0; // 選択番号
26 int sortorder=0; // ソート順
27 int sortItemColumn=4; // ソートアイテムカラム
28 int isMakeThreadRunning = FALSE; // スレッド実行中フラグ
29 int isDispMsg = FALSE; // メッセージ表示中
30 int saveCpuPower = FALSE; // CPUセーブモード
31 int saveCpuPowerValue = 10; // CPUセーブ率
32 int gaiji; // 外字フラグ
99

```

名称	記憶クラス	型	初期化記述	定義ファイル名	行番号	コメント
chosenStaff	extern	int	0	etos.c	25	外部変数
sortorder	extern	int	0	etos.c	26	ソート順
sortItemColumn	extern	int	4	etos.c	27	ソートアイテムカラム
isMakeThreadRunning	extern	int	0	etos.c	28	スレッド実行中フラグ
isDispMsg	extern	int	0	etos.c	29	メッセージ表示中
saveCpuPower	extern	int	0	etos.c	30	CPUセーブモード
saveCpuPowerValue	extern	int	10	etos.c	31	CPUセーブ率
gaiji	extern	int		etos.c	32	外字フラグ
kcode	extern	struct hw_data_table [14]		kconv.c	13	漢字コードの名前指定を柔軟にする

●typedef 一覧：【詳細解析モード】

プロジェクト全体に含まれる typedef 一覧です。

```

3 //各種定義
4 typedef unsigned char uchar8; // 符号無し8ビット
5 typedef signed char char8; // 符号有り8ビット
6 typedef unsigned short uint16; // 符号無し16ビット
7 typedef signed short int16; // 符号有り16ビット

```

名称	typedef記述	定義ファイル名	行番号	コメント
char8	char	etos.c	5	符号有り8ビット
int16	short	etos.c	7	符号有り16ビット
uchar8	unsigned char	etos.c	4	各種定義
uint16	unsigned short	etos.c	6	符号無し16ビット

●#define 一覧：【詳細解析モード】

プロジェクト全体に含まれる #define 一覧です。

```

9 #define NULL 0
10 #define TRUE 1
11 #define FALSE 0
12
13 #define TIMER_ID_RESTART 1 // RESTART状態
14 #define TIMER_ID_AUTO_UPDOWN 2 // 自動UP/DOWN
15 #define TIMER_ID_AUTO_ONOFF 3 // 自動ON/OFF
16 #define TIMER_ID_STARTUP 4 // STARTUP状態

```

マクロ名	マクロ定義記述	定義ファイル名	行番号	コメント
FALSE	FALSE 0	etos.c	11	
NULL	NULL 0	etos.c	9	
NULL	NULL 0	kconv.c	4	
TIMER_ID_AUTO_ONOFF	TIMER_ID_AUTO_ONOFF 3	etos.c	15	自動ON/OFF
TIMER_ID_AUTO_UPDOWN	TIMER_ID_AUTO_UPDOWN 2	etos.c	14	自動UP/DOWN
TIMER_ID_RESTART	TIMER_ID_RESTART 1	etos.c	13	RESTART状態
TIMER_ID_STARTUP	TIMER_ID_STARTUP 4	etos.c	16	STARTUP状態
TRUE	TRUE 1	etos.c	10	

●外部変数参照リスト：【詳細解析モード】

外部変数毎に作成される、変数の参照関係を示す仕様書です。下の例は、変数「gaiji」が、参照/代入されている位置を示しています。各参照項目を右クリックすると、ソース上の参照位置へ移動することができます。

外部変数リファレンスリスト

名称	gaiji
記憶クラス	extern
型	int
定義位置	etos.c 32行目
コメント	外字フラグ

参照位置一覧

参照ファイル名	行番号	関数名
etos.c	86	etos

代入位置一覧

参照ファイル名	行番号	関数名	代入値
etos.c	46	etos	0
etos.c	50	etos	1

レディ NUM 書禁

●関数リファレンスリスト : 【詳細解析モード】

関数毎に作成される、関数の呼び出し関係を示す仕様書です。下の例は、関数「etos()」が呼び出されている(使われている)ソース上の位置を示しています。参照項目の上で右クリックすることで、ソース上の呼び出し位置に移行します。

The screenshot shows a window titled "specific - [etos.vrff]" with a menu bar (File, View, Tools, Window, Help) and a toolbar. The main content area displays the "関数リファレンスリスト" (Function Reference List) for the function "etos".

名称	etos	
記憶クラス	extern	
型	void	
定義位置	etos.c 40行目	
コメント	機能：EUCからSJISに変換 説明：CasePlayer2仕様書作成サンプルソース Copyright(c) GAIO TECHNOLOGY	
参照位置一覧		
参照ファイル名	行番号	関数名
kconv.c	58	main

At the bottom of the window, there is a status bar with the text "レディ" (Ready), "NUM", and "書禁" (No Copying).

●構造体リファレンスリスト : 【詳細解析モード】

構造体毎に作成される、構造体仕様書です。下の例は、構造体「hw_data_table」が使用されている位置を示しています。参照項目の上で右クリックすることで、ソース上の位置に移行します。

名称	hw_data_table
種別	構造体
定義位置	kconv.c 7行目
コメント	外部ハードデータテーブル

参照位置一覧		
参照ファイル名	行番号	関数名
kconv.c	13	

●構造体メンバリファレンスリスト : 【詳細解析モード】

構造体のメンバ毎に作成される、構造体メンバ参照リストです。下の例は、構造体「hw_data_table」の中のメンバ、「code_id」が使用されている位置を示しています。参照項目の上で右クリックすることで、ソース上の位置に移行します。

メンバリファレンスリスト		
名称	code_id	
タグ名	hw_data_table	
型	int	
定義位置	kconv.c 9行目	
コメント	漢字コードの識別番号	
参照位置一覧		
参照ファイル名	行番号	関数名
kconv.c	43	main
kconv.c	49	main

ステータスバー: レディ | NUM | 書禁

END